

- ✓ #元気いただきますプロジェクト
- ✓ 「国連生物多様性の10年」
- ✓ 事業活動報告、SEFからのお知らせ



トピックス

#元気いただきますプロジェクトで食品ロス削減

#元気いただきますプロジェクトは、新型コロナウイルスの影響で行先を失っている「国産食材」を食べて応援しよう！というプロジェクトです。このプロジェクトは、国産農林水産物等販売促進緊急対策として、農林水産省が進めています。参加方法は、①対象品目を食べて応援、②EC サイトで買って応援、③デリバリー・テイクアウトで買って応援を選ぶ、「#元気いただきます」をつけてSNSへ投稿し、おいしく食べている写真で生産者への応援の輪を広げようというものです。EC サポート事業者の募集期間は終了しましたが、消費者としては引き続き参加できますので、このままでは廃棄されてしまう国産食材をおいしく食べて、食品ロス削減をするとともに生産者のみなさんへの応援をするのはいかがでしょうか。

#元気いただきますプロジェクト(農林水産省特設ホームページ)
<https://www.kokusan-ouen.jp/>



トピックス

「国連生物多様性の10年」グリーンウェイブ2020の実施結果

「国連生物多様性の10年」とは、2010年12月に国連総会で決議され、2011年から2020年までの10年間をさします。この10年間、国際社会が協力して重点的に生物多様性の問題に取り組むことが提案されています。

2020年は、この「国連生物多様性の10年」の最終年となります。2020年は新型コロナウイルスの感染症の感染拡大に伴う活動自粛などの影響があり、例年より縮小したものの、90団体の参加、40団体の協力の下、1,213人の参加

を得て、891本の植樹が行われるなど、様々なグリーンウェイブ活動が行われました。私たちSEFも2017年から4年連続で参加しており、今年も5月に山武市日向の森で110本の植樹活動を実施しました。

詳細は下記リンクより環境省ホームページを参照ください
<http://www.env.go.jp/press/108439.html>

SEF News Letter
リニューアルの
お知らせ

2014年8月のVol.1発行より毎月お届けしてきたSEFニュースレターですが、翌2021年1月号(2021年1月1日発行)より、年4回の季刊誌としてリニューアルの運びとなりました。毎月楽しみにいただいていた読者の皆様には恐れ入りますが、更なる内容の充実を図ってまいりますので、どうぞご期待くださいませ。

ゼロエミッションの実現に向けて、食品小売業・外食産業の店舗から発生する廃棄物(特に食品循環資源)の発生抑制・資源循環・適正処理の手法を学ぶ場として開催している2020年度ゼロエミッション研究会。11月12日に見学会を開催いたしました。

今年度の研究会における取組テーマでもある、群馬東部エリアでの食品リサイクルループの実現に向けて、排出事業場・飼料化施設の視察と、飼料化事業者および配合飼料メーカー担当者を招いての情報共有・意見交換を行いました。参加者は28名と、多くのご参加を頂きました。

<排出事業場の視察>

まず、ユナイテッド・スーパーホールディングス(株)様のご協力にて、既に食品循環資源を飼料化施設に処理委託している「カスミフードスクエア大泉店」様の視察を行いました。店内での分別方法や保管方法等のお話を伺い、廃棄物庫を視察しました。



<飼料化施設の視察>

続いて、(有)高尾商店様が運営する飼料化施設「館林エコフィードセンター」にて、代表取締役の高尾様より食品循環資源の飼料化における安全性の確保の方法や施設概要等について、現場を確認しつつ、ご説明頂きました。



<情報共有・意見交換>

施設見学のあと、熊谷市内の会議室に移動し、情報共有と意見交換を行いました。

①「飼料化事業と飼料安全法改正について」

食品リサイクルループに参加を検討する食品関連事業者に向けて、排出事業者としての責務について、中部有機リサイクル(株)の前川様に講演頂きました。特に、豚熱等の伝染病対策に伴う飼料安全法の改正が飼料化事業に与える影響を中心に、分かりやすくご説明頂きました。



②「エコフィードの利用状況について」

配合飼料メーカーである日本農産工業(株)の香川様、高橋様より、エコフィードが他の飼料と比較してどのような特性があるのか、飼料原料としての視点で家畜栄養の面からその有効性についてご説明頂きました。



今回の見学会で、群馬東部エリアでの食品リサイクルループ構築に関わる全ての関係者との顔合わせを完了し、これからは実現に向けた実務的な調整を進めていきます。

第3回勉強会からご参加も大歓迎です。
概要をご確認のうえ、SEF ホームページからお申込みください。

<https://save-earth.or.jp/archives/6254>

2020年度ゼロエミッション研究会 概要

【日程】

<勉強会> 5回開催

→第1回:2020年09月17日(木)15:00~18:00 終了しました

→第2回:2020年10月22日(木)15:00~18:00 終了しました

・第3回:2021年01月21日(木)15:00~18:00

・第4回:2021年02月18日(木)15:00~18:00

・第5回:2021年03月25日(木)15:00~18:00

<見学会>群馬県にて実施

→2020年11月12日(木)13:00~18:00 終了しました

【勉強会 会場】

第3回勉強会以降:都内にて実施(決まり次第ご案内します)

【講師】・百瀬則子氏

(SEF 業務執行理事、ワタミ株式会社SDGs推進本部長)

・志岐秀明氏

(SEF 理事、株式会社ガイアドリーム代表取締役)

・牛久保明邦氏

(SEF 顧問、東京農業大学名誉教授)

ほか、資源循環・廃棄物関連専門家多数登壇予定

【参加費】70,000円

※賛助会員(民間団体)は無料

※別途:見学会交通費、遠方への個別相談時交通費

森林再生事業 活動報告

第14回森林環境イベント(「東御の森」で自然を感じよう)を実施しました～東御の森～

さわやかな秋空、紅葉がはじまった森内を散策しながらの自然観察会を行いました。

参加者17名、観察のテーマは「くつつくものを探そう」、人や動物にくっついて運ばれるタネなどを観察しながら歩きました。参加者の興味はいろいろ、3人の講師はそれぞれに話しかけながらコメントしていきます。自然体の「ソーシャルディスタンス」をとりながらの散策となりました。

観察コースの途中には、オオハongoソウ(特定外来植物)の抜取をしながら在来種保全をしているエリアや、昨年の台風

による増水で崩れた場所を遠くから眺められる場所もあります。あらためて森のことを考え直しますね、と話された参加者もおられました。

最後に、自然のフィールドで五感を通して観察すること、体験することの大切さについて話しました。

事前の健康状況確認のお願い、集合時の検温、マスク着用など、新型コロナ感染予防をして実施いたしました。

※このイベントは国土緑化推進機構「緑と水の森林ファンド」の交付金による助成事業として実施しました。



森林再生事業 活動報告

約1年ぶりに開催！ 「6歳になったら机を作ろう in 山武」

2018年5月に初開催し、以来4回開催してきた「6歳になったら机を作ろう in 山武」。今年5月の開催予定は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて中止となりましたが、去る11月3日(火)、感染症対策に万全を期したうえで、約1年ぶりに開催することができました。

地元千葉のほか、東京、神奈川から計5組のご家族が参加し、雨上がりの日向の森で午前の部をスタート。生き物観察の専門家と一緒に自然観察を楽しんだ後、地元の森林組合スタッフの指導のもとで間伐作業を体験。樹齢40年のサンブスギを、力を合わせて倒しました。

そして、午後はNPO法人元気森守隊様(山武市)の倉庫をお借りして、メインイベントの机づくりを開始。サンブス

ギ製の学習机キット製作は地元の工房「スタジオキリン」の鈴木さんが担当。接着、切断、穴開け、ビス止め、やすり掛けなど、工程を一つずつ体験しながら、ご家族みんなで力を合わせて、世界に一つだけのマイ学習机を完成させました。盛りだくさんの一日に子どもたちもクタクタ…かと思いきや、すっかり仲良くなり記念撮影のあと追いかけてを楽しんでいました。

後日のアンケートでは「いいにおいがして幸せ」「息子が『一生大切に使う！』と言ってきている」といったお声をいただきました。たくさん勉強して、素敵な人生を歩んでほしいと思います。

※このイベントは、子どもとお出かけ情報サイト「いこーよ」の協力を受けて実施しました。



※この企画は(公社)国土緑化推進機構「緑の募金」の支援を受けて実施しました。

12月・1月 森林保全活動 のお知らせ ボランティア 募集中！



SEFでは、各地域での森林保全活動をお手伝い頂けるボランティアさんを募集しています。

千葉県山武市では原則として毎月第2・第4土曜日に定例活動を行っているほか、他地域でも年数回の活動を実施しています。

なお、活動実施にあたっては感染症の拡大防止に最大限の配慮を講じてまいります。

下記リンクから確認事項等ご参照のうえ、ご参加をお願いいたします。

<https://save-earth.or.jp/archives/6783>

<12月・1月の活動予定>

●千葉県山武市

12月12日(土)、1月9日(土)、30日(土)

★千葉県山武市 ※昨年秋の台風15・19号による被害を受けた人工林の復旧作業を中心とした活動を予定しています。

活動の詳細、お申込みはコチラ ▶ <https://save-earth.or.jp/event>

賛助会員・サポーター入会のご案内

SEFの活動は、皆さまからのご支援に支えられています。
「美しい地球を未来の子どもたちに残したい」。この思いにご賛同いただける皆様のご入会をお待ちしております。

企業・団体	会員特典	<ul style="list-style-type: none"> ・食品リサイクルループ構築支援 ・「企業の森づくり活動」支援 ・廃棄物法令、食品リサイクル、廃棄物管理等の専門家による助言・指導 ・「ゼロエミッション研究会」など、各種セミナー等へのご招待・ご優待 		
	会員区分 年会費	特別賛助会員	1口	500,000円
個人	会員区分 年会費	賛助会員	1口	50,000円
		資源循環サポーター	1口	50,000円(資源循環事業に用途を限定)
		森林再生サポーター	1口	50,000円(森林再生事業に用途を限定)
		会員特典	<ul style="list-style-type: none"> ・「ゼロエミッション研究会」など、各種セミナー等へのご招待・ご優待 ・森林ボランティア活動参加者に千葉県産サンプスギ製「サポーター登録証」を発行 	
		賛助会員	1口	10,000円
		資源循環サポーター	1口	1,200円(資源循環事業に用途を限定)
		森林再生サポーター	1口	1,200円(森林再生事業に用途を限定)

ご入会のお申込みはこちらから→<https://save-earth.or.jp/member/apply>

